

# 指定管理者に関する第三者評価シート

## 1 施設の概要

(評価実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立自転車駐車場 (鴻池新田、徳庵、布施、小阪、瓢箪山、長田、弥刀、吉田、新石切の各駅前)			指定期間	2	年度～	6	年度		
				選定方法	非公募					
				指定管理者名	東大阪再開発株式会社					
所管部課名	土木部道路管理室自転車対策課			評価機関名	株式会社ブレインファーム					
施設の設置目的	適正な自転車等の利用を促進し、安全かつ円滑な通行を確保するとともに自転車等の利用者の利便を図るため、本市に自転車駐車場を設置する。			主な事業	施設の維持管理 利用者の安全対策 利用料の徴収 自転車駐車場運営にかかわる業務全般					
設置時期	平成	1	年度							
主な料金体系 (有料・無料等)	有料									

## 2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)					
	平成	30	年度	令和	1	年度	令和	2	年度	令和	3	年度	令和	4
供用(開館)日数		365		366		365		365		365		365		365
収支状況 (千円)	収入総額		302,384		295,512		248,488		329,380		329,638		329,638	
	指定管理者委託料		0		0		0		0		0		0	
	利用料金収入		302,384		295,512		248,488		329,380		329,638		329,638	
	自主事業収入		0		0		0		0		0		0	
	その他収入		0		0		0		0		0		0	
	支出総額		267,480		257,540		186,732		273,680		280,240		280,240	
	人件費		142,598		139,186		99,216		211,095		217,059		217,059	
	施設維持管理費		15,587		20,308		49,760		27,540		27,540		27,540	
	事業費		1,988		3,644		3,934		7,980		7,980		7,980	
	その他支出		107,307		94,402		33,822		27,065		27,661		27,661	
収支差額		34,904		37,971		61,756		55,700		49,398		49,398		

### 3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」  
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」  
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」  
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	仕様書の基準に沿って指定事業が実施されている。自動定期更新機、一時利用精算機など、積極的な機械化への取り組みは、利用者の利便性向上につながっており、評価できる。 高齢者優先コーナーの設置、虫ゴムの提供、空気入れや雨ガッパの貸与など細やかな市民サービスも行われ評価できる。 しかしながら、利用率が減少傾向にあり、その対策の検討が望まれる。	利用促進における課題を指定管理者と共有して対策を検討していただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	令和2年度は、自動定期更新機、一時利用精算機など、積極的な機械化の取り組みで、人件費を低減している点が評価できる。令和3年度、4年度も継続して取り組む方針であることも確認している。 各自転車駐車場責任者による、年4回の会議で、人員配置方法、共通業務のマニュアル化、意見苦情等の共有が行われ、各現場職員に周知されている。今後も継続していただきたい。	機械化による効果の評価を行っていただきたい。また、経費の予算と実績のモニタリングを継続していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	B	外部講師によるコンプライアンス基礎講座が令和1年度に行われたが、令和2年度は行われていない。現場に即した身近な事例での接遇、人権、セキュリティなどの研修を年度毎に実施することが望まれる。 個人情報管理ファイルの管理方法を見直し、現場の運用に即したマニュアルを作成し、全職員に周知徹底していただきたい。	年度毎の研修計画と実施の確認について見届けていただきたい。 個人情報管理ファイルの管理、運用方法について実施状況を見届けていただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	B	法人の財務健全性に課題があるため、市に対して期毎に決算見通しを報告していただきたい。 事業の収支予算書における支出項目と事業報告時の支出項目の表記が異なるため、予算と実績の比較ができない。支出項目の統一化を図っていただきたい。	指定管理者と協議し、予算と実績の比較のために支出項目の統一化を図っていただきたい。
継続性 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取り組みが実施されているか？	A	適切に労務管理が実施されており、指定管理者の業務に支障をきたす可能性は低いと思われる。	事業の継続性から見た労働環境の整備は適切と思われる。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	仕様書の基準に沿って指定管理事業が実施されており、さらに機械化や独自のサービスを取り入れ市民の利便性向上に取り組んでいる。しかしながら、職員研修の計画や個人情報管理の運用面、事業予算管理面に課題が残されている。課題解決を図り、引き続きサービスの向上に取り組むことを期待する。	